

(仮訳)

## プレス・リリース

2017年12月7日

**バーゼル銀行監督委員会はソブリン向け与信の規制上の取扱いに関する検討を完了し、現行の規制上の取扱いを維持することを決定。併せてディスカッション・ペーパーを公表。**

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）の上位機関である中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ（GHOS）は、2015年1月、ソブリン・リスクの規制上の取扱いを検討することをバーゼル委に指示した。バーゼル委は、この度検討を完了し、本日、ソブリン向け与信の規制上の取扱いに関するディスカッション・ペーパーを公表する。

バーゼル委は、検討において提起された論点およびディスカッション・ペーパーで提示した潜在的な考え方は、幅広い議論に付す価値がありうる重要なものと考えている。もっとも、ソブリン向け与信に関する現行の規制上の取扱いを変更するコンセンサスは形成されなかった。このため、バーゼル委は、ディスカッション・ペーパーで提示した考えについて、市中協議を行わないことを決定した。バーゼル委がより長期的な観点で思考する際には、本件に関心を有するステークホルダーの見方は有用となろう。